

市販のペットフードについて

2-1 市販のペットフードの種類と選び方

- 市販のペットフードには、製品の形状や与える目的によってさまざまな種類があります。

主食は総合栄養食を選びましょう。また、ライフステージによって、必要なエネルギー量や栄養素のバランスは変化します。総合栄養食のうち、成長段階、気になる健康状態に合わせて選んだ上で、味や質感（水分含量など）は好みで選ぶことができます。

使用目的による分類

●総合栄養食

毎日の主要な食事として与えることを目的とし、新鮮な水と一緒に与えることで犬や猫の健康を維持できるように栄養バランスが整えられています。

●療法食

犬や猫の疾病の治療などの際に栄養学的なサポートをするために、治療の内容に合わせてフードの栄養成分を調整し、治療を補助する目的で与えるフードです。使用は獣医師の管理の下に行われます。

●間食（「おやつ」または「スナック」）

おやつやごほうび、ペットとのコミュニケーションの手段として与えるものです。ジャーキータイプや肉・魚・果物などの素材を乾燥したタイプ、乾燥野菜類、肉・魚・果物などを液状にしたジェル状おやつの他にオーラルケアにも役立つ成型ガム類、ボーロ・ビスケットなどの菓子タイプ等様々なものがあります。ペットが欲しがるままに与えて必要な栄養バランスが損なわれないように一日に与えて良い量、回数が記載されています。

●その他の目的食

犬や猫に給与されるフードで「総合栄養食」、「療法食」、「間食」のいずれにも当てはまらないものを総称して他の目的食といいます。「総合栄養食」ではない缶詰、レトルトフード、栄養補給のサプリメント、食欲増進や特定の栄養成分の補給を目的としたものなどがあります。製品のパッケージには「副食」、「一般食（おかずタイプ）」、「栄養補完食」などと記載されています。

水分含量による分類

●ドライタイプ

- ・カリカリとした食感
- ・重量あたりの栄養価が高い



●セミモイストタイプ・ソフトドライタイプ

- ・半生タイプや、ジャーキーなどのスナック製品



●ウェットタイプ

- ・缶詰、パウチ、アルミトレイカップなどの密封容器で加圧加熱殺菌された製品
- ・風味がよく、食べやすい



ライフステージによる分類

●哺乳期

誕生～30日ぐらい。母乳が飲めない時は、犬または猫専用のミルクを与えます。

●離乳期

生後20～60日ぐらい。やわらかくしたフードを少しずつ与えます（離乳期用または成長期用）。

●成長期

生後50日から、小型犬では10か月ぐらい、中型犬では1年ぐらい、大型犬では1年半ぐらい、猫では1年ぐらいの期間。市販製品では、成長期用（子犬用または子猫用）のフードがあります。

●成犬、成猫期

成長期を終えてから7年間（大型犬では5年）程度の時期をいいます。市販製品では、成犬用、または、成猫用のフードがあります。

●中高齢期

約8～10歳（大型犬は6～7歳）以降の時期を言います。最近は年齢をより細かく分けて表示されたものもあります。

MEMO フードの切り替え方

ある年齢になったからといって、急にその年齢用のフードに切り替えるのはあまり良いことではありません。食べ慣れていないフードに切り替えると、吐いてしまったり、下痢をすることもあります。フードを変えるときには、犬や猫の状態を見ながら1～2週間かけて新しいフードの割合を徐々に増やしていきましょう。

犬と人間、猫と人間の年齢の目安（品種等によってもこの関係は違ってきます）

24+(年齢-2年)×4

最初の2年で24歳、3年目からは1年に4歳ずつ年をとると言われています。



小～中型犬・猫	人
1歳	15歳
2歳	24歳
3歳	28歳
5歳	36歳
7歳	44歳
10歳	56歳
12歳	64歳
15歳	76歳
20歳	96歳

12+(年齢-1年)×7

最初の1年で12歳、2年目からは1年に7歳ずつ年をとると言われています。



大型犬	人
1歳	12歳
2歳	19歳
3歳	26歳
5歳	40歳
7歳	54歳
10歳	75歳
12歳	89歳
15歳	110歳

2-2 表示の見方

●表示をよく確かめて、目的に合ったフードを選びましょう。

市販のペットフードのパッケージには、犬や猫の健康と安全を守るために参考となる情報はもちろん、他にも様々な情報が日本語で記載されています。

5つの
表示義務

ペットフード安全法に基づく表示

表示の例

国内で販売されるペットフードに記載することが義務づけられている表示です。

1 名称

犬用?猫用?

商品名とともに犬用か猫用かが分かるように記載されています。

2 賞味期限

いつまで与えていいの?

決められた方法で保存した場合に、栄養価や品質が保証出来る期限です。年月日または年月で記載されています。

3 原材料名

何が入っているの?

フードに使用したすべての原材料と添加物が記載されています。

4 原産国名

どこで作られているの?

フードの最終加工が行われた国が記載されています。

5 事業者名及び住所

だれの製品なの?

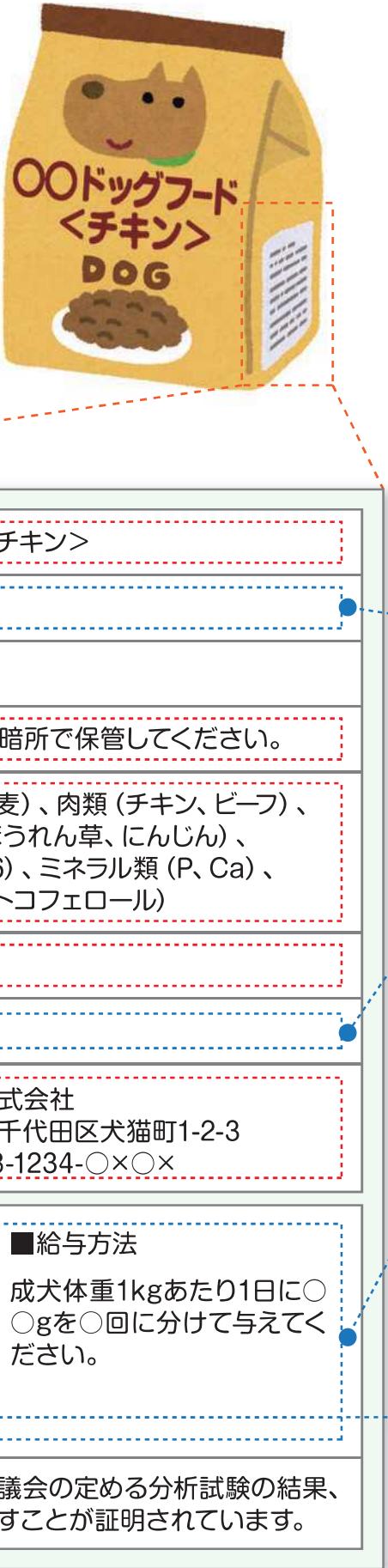
事業者の種別名(輸入者、製造者又は販売者)、名称や住所などが記載されています。

品名	〇〇ドッグフード
用途	成犬用総合栄養食
賞味期限	2021.02
保存方法	直射日光を避けて
原材料名	穀類(とうもろこし、動物性油脂、野菜類 ビタミン類(A、B1、酸化防止剤(ミック
原産国名	日本
内容量	3kg
製造者	ABCペットフード 〒100-0000 東京 お問い合わせ先

■成分

たんぱく質	18%以上
脂質	5%以上
粗繊維	5%以下
灰分	8%以下
水分	12%以下

この商品はペットフード公正取引
成犬用の総合栄養食の基準を満



ペットフードの表示に関する公正競争規約

不当景品類及び不当表示防止法(昭和37年法律第134号)に基づき、定められた規約で、消費者が適正に商品の選択ができるように業界で設定されているルールです。

1 用途

どういう目的で与えるの?

「総合栄養食」、「間食」、「療法食」、「その他の目的食」であることが分かるように記載されています。(P8参照)

2 内容量

どのくらい入っているの?

製品の正味量がg(グラム)やmL(ミリリットル)などの単位で記載されています。おやつなどは個数の場合もあります。

3 与え方

どのくらいの量を、どのように与えればいいの?

フードの目的に合わせて1日に与える量や回数等の目安が記載されています。

4 成分

栄養成分はどのくらい?

主要な栄養成分や水分量が%で記載されています。
多くのフードではkcal/100gも記載されています。